

第1章

戦略的な事業展開の必要性

1. 戦略的な事業展開プラン作成の背景

1) 公園経営基本方針と公園経営事業展開プラン

平成 24 年 6 月に策定・公表した「公園経営基本方針」に基づく具体的な取り組みを効果的に推進するために、優先的に取り組むべき課題と戦略的展開を「公園経営事業展開プラン」(以下、「事業展開プラン」とします。)としてまとめました。

本プランは、名古屋市での公園経営の現状を踏まえた上で、今後 10 年間で、市民・事業者のみなさんとともに、「公園経営基本方針」を具体化・実践していくための計画です。

2) 事業展開プランの計画期間

事業展開プランの計画期間は、平成 25 年度から 10 年間とし、平成 25～27 年度を前期、平成 28～31 年度を中期、平成 32～34 年度を後期として事業展開を図ります。

なお、名古屋市を取り巻く環境や社会情勢の変化に応じて、取り組みの内容は、適切に見直しを行います。

年(平成)	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
公園経営 基本方針	基本理念 公園から美しく魅力輝く名古屋を創造する」の実現											
事業展開 プラン		前期			中期				後期			

3) 事業展開プランの目指すもの

事業展開プランの推進により、市民や事業者のみなさんが、名古屋市とともに公園の管理運営の主役となって公園経営に参画することで、公園が真に“公=みんな”の公園となることを目指します。

市民のみなさんにとっては、楽しみながら生きがいを見つけられるような、より身近な場所として、また事業者のみなさんには、ビジネスや社会貢献の場として、公園を活用していただく機会が増えるよう、皆さんの公園経営への参画をサポートし、協働のコーディネートに取り組めます。

なごや緑の基本計画2020

H23年12月

名古屋市緑の審議会
(公園経営部会)
中間答申

公園経営基本方針 (平成24年6月策定・公表)

公園経営のあり方

基本理念

公園経営の3つの視点

目指す公園像

基本プロジェクト

地域の庭プロジェクト

にぎわい広場プロジェクト

自然の恵みプロジェクト

民間活力導入プロジェクト

取組みの指針

1~8

制度整備の方策

1~5

H25年3月

名古屋市緑の審議会
(公園経営部会)
答申(最終)

公園経営事業展開プラン

「公園経営基本方針」に基づく具体的な取り組みを効果的に推進するために、4つの戦略ごとに実施する施策を記載したもの

2. 公園経営基本方針の推進にかかる課題と4つの戦略

1) 戦略設定の考え方

名古屋市の公園経営推進の現況を踏まえると、今後「公園経営基本方針」を推進するためには、大きな課題が4つあります。

これらの課題を解決しながら公園経営を具体的に展開するにあたって、課題ごとに次の4つの戦略を立て、明確かつ合理的に取組みを進めていきます。

■ 「公園経営基本方針」を推進するにあたっての現状の課題

公園経営の3つの視点

視点1

みんなが関わり、Win-Win の関係で進める公園経営

視点2

公園ごとの特色を育て、地域に生かす公園経営

視点3

取り組みの効果をつないで、新しい公園機能を生み出す公園経営

現状の課題

課題① 公園ごとの資産の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市の公園は1,428か所を数え、規模や利用状況も様々なレベルのものが混在している。 ・全ての公園で一律に公園経営を進めることは困難であり、公園それぞれの規模、利活用状況を踏まえて、公園ごとの資産を再評価・整理し、その特性を踏まえたメリハリのある公園経営の取り組みを考えていく必要がある。
課題② 市民協働の推進と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市の公園における市民活動は、愛護会など地域住民による清掃等のボランティア活動が中心で、市の施策でも積極的に市民・団体の人材育成を図る事業は、森づくりの協働などを除き一部に留まっている。 ・公園経営の推進には、公園の管理・運営に参加し、活動プログラムの企画者や実施者となって活動する「公園キャスト」を育成し、協働を進めることが求められる。
課題③ 民間活力の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理公園における民間の事業参画や、都心の公園における民間事業者主催のイベントなどはあるものの、「公園経営の3つの視点」にそって民間事業者と協働で公園経営を推進する体制には至っていない。 ・公園経営にはマーケティングに基づく事業の実施が求められ、民間事業者の活力とノウハウを公園経営に積極的に導入する体制整備が必要である。
課題④ 品質管理プロセスの明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者満足度の向上には、わかりやすい目標の設定と改善を継続することにより、質の高いサービスを提供することが必要である。 ・現在、指定管理公園では評価委員会による評価システムがあるが、今後は直営公園も含めて利用者満足度に関する市民評価の拡充、PDCAサイクルによる品質管理の実施、評価の技術水準の向上など、誰からもわかりやすい公園経営の品質管理プロセスを明らかにすることが重要である。

■ 4つの戦略と公園経営基本方針の取組みの指針・制度整備の方策の関係

	取組みの指針								制度整備の方策				
	指針1 美しい景観・歴史・文化の活用	指針2 「にぎわい」の創造	指針3 公園の魅力情報の発信	指針4 公園利用サービスの魅力アップ	指針5 地域の公園利活用の推進	指針6 公園経営を担う市民・事業者の人材育成	指針7 自然の恵みを楽しむ機会の拡大	指針8 災害対応力の向上	方策1 資産運用を推進する体制の構築	方策2 設置管理許可制度、指定管理者制度、PFI制度の改善と活用	方策3 取り組み効果の評価と改善	方策4 幅広い寄附制度の展開	方策5 民間サポーター、協賛スポンサー促進事業の開発
戦略1 公園の特性を生かした公園経営の推進	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎		
戦略2 市民・団体の参画・協働の推進					◎	◎	◎					◎	◎
戦略3 民間活力導入体制の整備		◎	◎	◎		◎			◎		◎	◎	◎
戦略4 公園経営の品質を高める評価の実施									◎	◎	◎		

◎：特に関連が深い

2) 4つの戦略内容

戦略1 公園の特性を生かした公園経営の推進

公園の利用上の体系分類に基づいて、各公園の特長を把握し、管理運営方針を決定します。また、各公園の利活用に関する基本情報をまとめた「公園カルテ」や、公園ごとの管理運営に関する具体的な計画である「パークマネジメントプラン」を作成し、公園管理者・市民・事業者など全ての関係者が個々の公園の目標像を共有するためのツールとして活用していきます。

また、名古屋の都市ブランド力の向上につながるような、公園の魅力を発信する情報基盤を整備します。

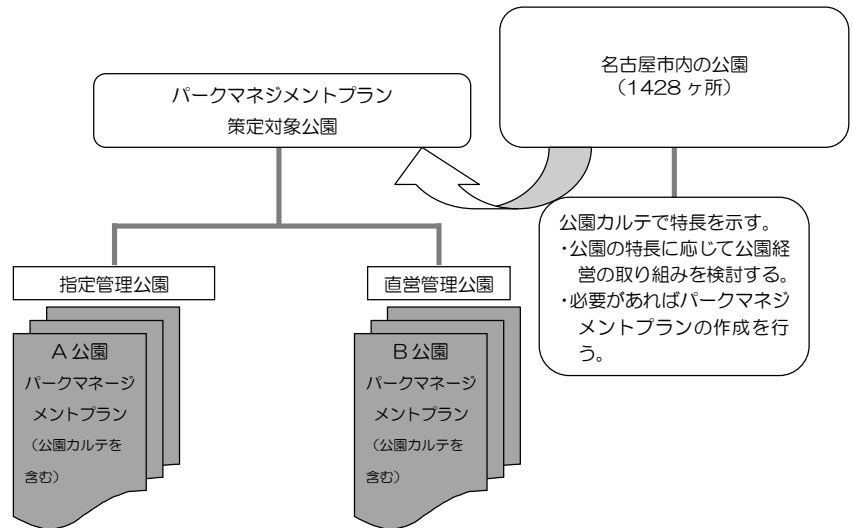


図2 公園カルテとパークマネジメントプラン

戦略2 市民・団体の参画・協働の推進

公園愛護会等の市民活動を活性化させるとともに、様々な能力や目的をもった人々とともに公園を楽しく使ってもらう仕組みを作ります。

公園管理者と公園利用者という従来の関係だけではなく、『公園利用者であると同時に、様々な活動プログラムの企画や実施を担う市民や団体』を「公園キャスト（仮称）」として位置づけ、施設や活動プログラムのサービスを受益する「ゲスト」と公園管理者との間に、「キャスト」が入る関係づくりを進めます。

さらに、キャストを募集・育成し、協働ネットワークを拡大することにより、公園経営への参画・協働の推進に取り組みます。

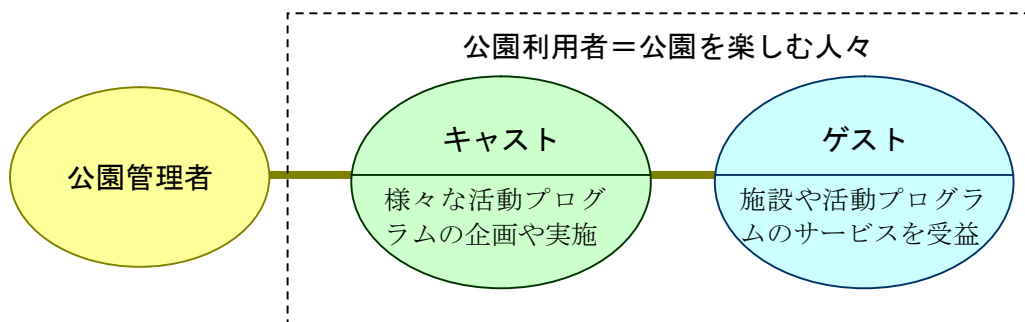


図3 公園を楽しく活用する「キャスト」のいる関係

参考文献：山崎亮著「コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる」

戦略3 民間活力導入体制の整備

市から事業者へ向けて、公園経営への民間活力導入の方針を強く伝えていくとともに、民間活力の発揮しやすい環境を整え、多様な社会貢献・ビジネス機会の提供を行っていきます。さらに、民間イベントの活性化によるにぎわいを創るとともに、イベントによる収益を公園サービスの向上に還元する仕組みを作ります。

また、主に有料施設を有する公園に導入されている指定管理者制度に関しても、より一層、民間事業者のノウハウを活用し、充実したサービスを効率的に提供するため、規模が大きく利用者ニーズが多様な公園への指定管理者制度の導入を進めるとともに、事業者インセンティブの確保等、制度の運用改善を行います。

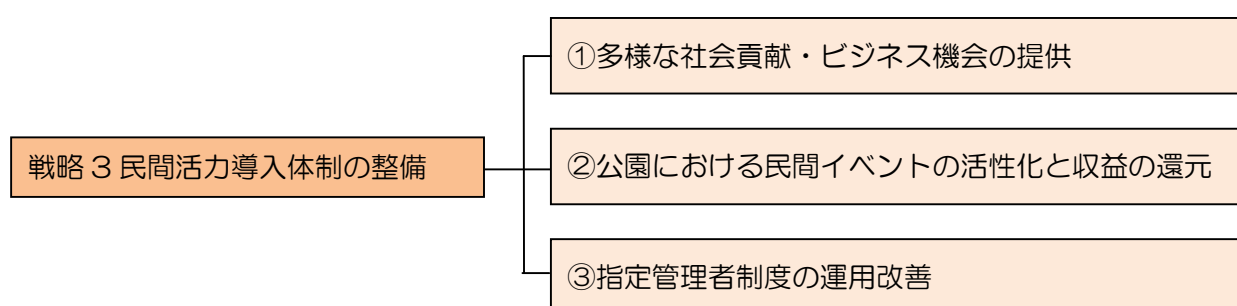


図4 民間活力導入体制の整備

戦略4 公園経営の品質を高める評価の実施

実効性の高い公園経営の取り組みを進め、公園を利用する方の満足度を高めるために、利用者満足度の把握に市民の評価を加え、PDCAサイクルによる品質管理を実施していきます。

さらに、評価の質を高めるため、職員や指定管理者等の評価技術水準の向上に努めていきます。

表1 公園経営の品質を高めるために必要な市の役割

項目	内容
管理運営の目標設定	<ul style="list-style-type: none"> 誰からもわかりやすい指標 利用者ニーズに応じた運営目標 など
目標達成までの事業管理	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信 プロモーション マーケティング 公園サービスの充実 民間アイデアの公募 幅広い寄附の制度設計、募集 など
透明性の高い評価システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 事業の評価・見直し、改善 など
公園経営の品質向上を図るための体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> 職員の技術力の維持・向上 資産評価、資産運用の実施 など

【公園経営基本方針】

公園経営の必要性

- 1 公園に求められるサービスの多様化
- 2 都市のブランド力の一端を担う公園の力
- 3 市民生活の基盤として公園が果たすべき役割の増大
- 4 減少が続く公園施設の維持管理費

公園経営のあり方

基本理念

公園から美しく魅力輝く名古屋を創造する

～利用者満足度の向上と名古屋の魅力アップ～

公園経営の3つの視点

視点1

みんなが関わり、Win-Winの
関係で進める公園経営

視点2

公園ごとの特色を育て、
地域に生かす公園経営

視点3

取り組みの効果をつないで、
新しい公園機能を生み出す
公園経営



■市民・事業者・行政の Win-Win の関係

めざす公園像

公園像1

人々をつなぐ公園



公園像2

名古屋の誇りとなる公園



公園像3

人と自然が共生する公園



「名古屋市の公園経営」とは…

従来の行政主導による維持管理中心の公園管理から脱却し、利用者志向、規制緩和等による市民・事業者の参画の拡大、多様な資金調達とサービスへの還元、経営改善手法の導入など、公園の利活用重視の発想により公園の経営資源を最大限に活用していく新たな管理運営の考え方です。

名古屋市においては、市民ニーズを考慮した公園経営を第一とし、公園を「市民の資産」としてとらえ、多くの人々の関わりの中で、市民全体が公園経営の成果を享受できるように「管理する資産」から「経営する資産」へと公園の管理運営のあり方を大きく変革していくものです。

公園経営の

基本プロジェクト

地域の庭プロジェクト

公園を核にした地域コミュニティ活動の推進などによって、公園の利用と愛着を高めます。

にぎわい広場プロジェクト

「にぎわい広場」を設定し、市民・事業者と協働で公園とまちのにぎわいを創出し、名古屋の魅力を高めていきます。

自然の恵みプロジェクト

自然とのふれあいやその恵みを実感できる機会を広げ、生物多様性に配慮した協働管理を推進します。

民間活力導入プロジェクト

民間事業者の事業参画、市民・事業者からの寄附など、公園経営の取り組みへ民間活力の導入を進めます。



【公園経営事業展開プラン】

